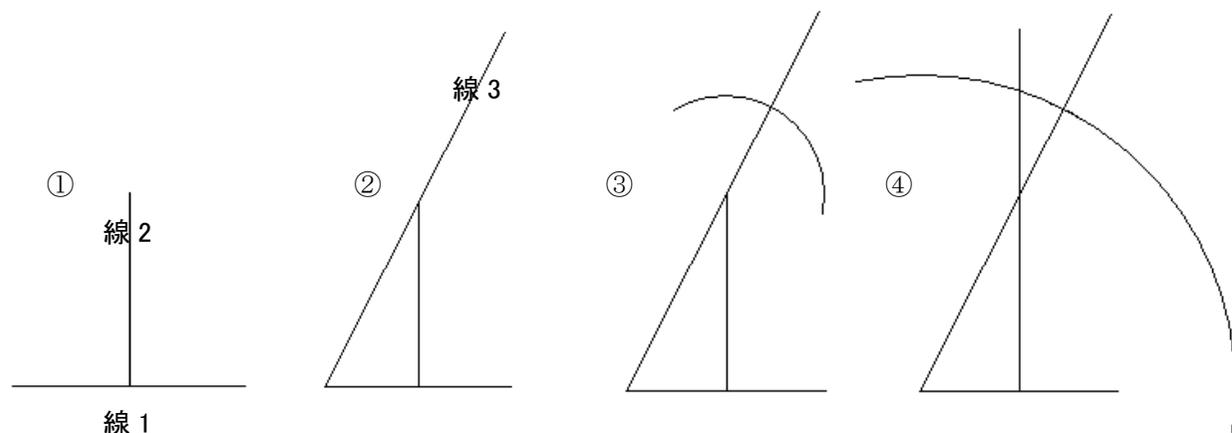


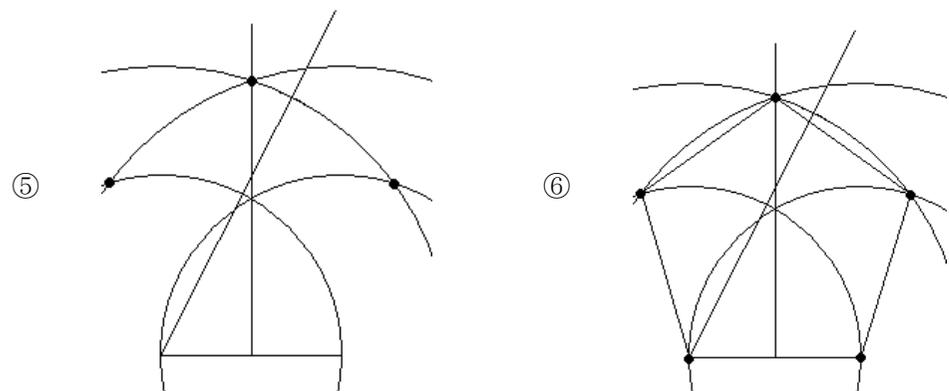
正十二面体カレンダー2019

をつくろう!

《 まずは正五角形の作図から 》



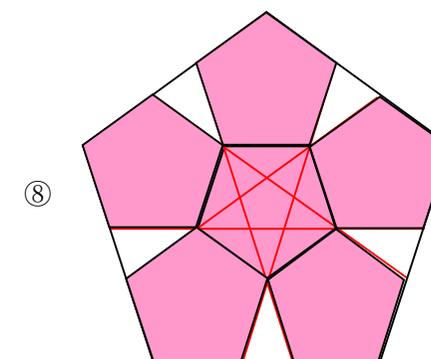
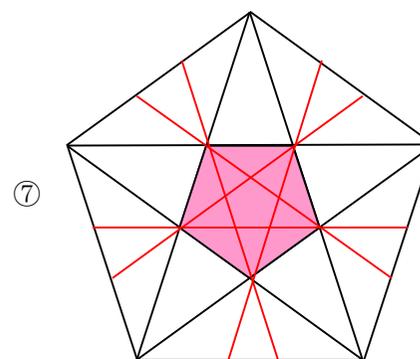
- ① まず 10cmの長さ の線分(線1)を引く。その垂直二等分線(線2)を、線1と同じ長さ(10cm)だけ引く。
- ② 線1の端から線2の先に向かって直線(線3)を引く。
- ③ 線1の 半分の長さ(5cm) をコンパスで計りとり、線2の先から円を描く
- ④ ③で描いた円と線3との交点と、線1の端との長さをコンパスで測りとり、線1の両端を中心に2つの円を描く。 この円と線2の延長との交点が正五角形の一つの頂点になる。



- ⑤ 線1の長さ(10cm) をコンパスで測りとり、線1の両端を中心に2つの円を描く。
- ⑥ 最後にすべての円の交点を結んで、正五角形の **完成!**

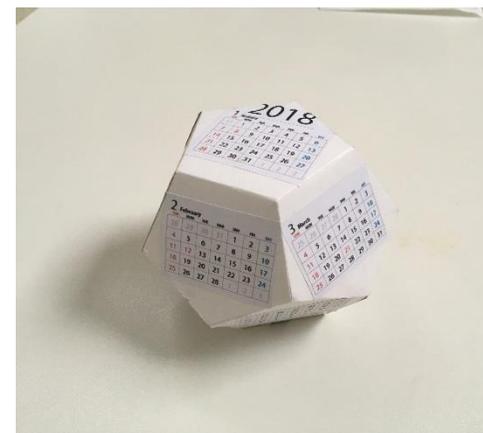
《 正十二面体をつくる 》

- ⑦ 正五角形の各頂点から対角線を引き、ちょうど真ん中にできた正五角形にも、図のように対角線を引く。そのときに、図のように大きな五角形全体にまで直線をのばす。
- ⑧ すると、真ん中の五角形の周りに5個の五角形ができる。図の白い部分をハサミで切りぬいて、太い線で折る。



- ⑨ もう一つ正五角形を作図し、対角線を引いて同じように切り取り、折る。
- ⑩ できた2枚の図形をきれいに折って、隣り合う辺をテープではり合わせると、

正十二面体の **完成!**



(写真は、2018年正十二面体カレンダー～山脇作～)

最後に、「12」という数と縁が深い「**カレンダー**(2019)」を、12面すべてにはり付けます。

コツは、「1」の向かい側に「12」、「2」の向かい側に「11」、……のように、加えて「**13**」になるように各月をはっていくことです。

2019年全体が手元ですぐに見られて便利です。なかなかよいアイデアでしょう。